

## コムギ(ムギ類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	赤かび病	赤さび病	うどんこ病	条斑病	眼紋病	斑葉病	なまぐさ黒穂病	アブラムシ類	ヒメトビウンカ	ムギアカタマバエ	ムギキモグリバエ	アワヨトウ
シルバキュアFL	DM I	3		7 2	◎	◎	◎									
チルト乳25	DM I	3		3 3	◎	◎	◎	◎								
トリフミン乳	DM I	3		3 3	◎		◎									
アミスター20FL	Q o I	11		7 3		◎	◎									
ストロビーFL	Q o I	11		14 3	◎	◎	◎									
アフエットFL	アミド	7		14 3		◎										
トップジンM水	ベンゾイミダゾール	1		14 *d	◎		◎		◎							
トップジンM粉DL	ベンゾイミダゾール	1		14 *d	◎											
ベンレート水	ベンゾイミダゾール	1		7 2	◎		◎									
キノンドー水40	有機銅	M1		*a 1						◎	◎					
オーソサイド水80	他	M4		14 4	◎											
バルクート水	他	M7		21 *c	◎											
ベフラン液25	他	M7	劇	*a 1				◎		◎						
				14 *c	◎		◎									
キンセット水80	無機・有機銅	M1・M1		*a 1				◎								
				60 5				◎								
ホーマイ水	有機硫黄・ベンゾイミダゾール	M3・1		*a 1						◎	◎					
スミトップM粉	有機リン・ベンゾイミダゾール	1B・1		14 1	◎		◎					◎	◎	◎		
アプロード水	I G R	16		7 3									幼			
アドマイヤー顆水	ネオコチノイト	4A	劇	14 2								◎				
トレボン乳	ピレスロイト	3A		14 2								◎	◎			
ペイオフME液	ピレスロイト	3A	劇	7 2								◎				
スミチオン乳	有機リン	1B		7 1								◎			◎	◎
ウララDF	他	29		7 2								◎				

\*a: 播種前

\*c: 3回以内(出穂期以降は1回以内)

\*d: 3回以内(出穂期以降は2回以内)

幼: 幼虫

## コムギ(ムギ類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
赤かび病	開花始め～ 開花最盛期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 トリフミン乳剤● 1000倍 トップジンM水和剤● 1000～1500倍 ベルコート水和剤 1000～2000倍	●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。
うどんこ病	4～5月	・発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 2000～3000倍 トップジンM水和剤● 1000～2000倍 トリフミン乳剤● 1000倍	●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。
裸黒穂病 ・ なまぐさ 黒穂病	播種前  発病時	・次の薬剤で種子消毒を行う。 ベンレートT水和剤20* 20倍 10～20分間浸漬 200倍 6～24時間浸漬 乾燥種子重量の0.5% (粉衣) ・病穂は早期に抜きとり処分する。	*ムギ類での登録
から黒穂病	播種前  発病時	1. 品種の選択に注意する。 2. 早まきをさける。 3. 被害の多い圃場では連作をさける。 ・被害株は発見次第黒粉が飛散しないよう抜きとり処分する。	
アブラムシ類	出穂前後 (4～6月)	・発生の多いときには次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤* 2000倍 ウララDF 4000倍 スミチオン乳剤 1000倍	*ムギ類での登録